

※実務経験のある教員による授業科目

### 授業概要

本授業では、国際ビジネスの基礎知識を学び、ダイナミックにグローバル展開する企業の活動を理解すると共に、国際経営戦略、リスクマネジメント、マーケティング、M&A、組織形態、人的資源管理等について基本的な内容を学びます。具体的には、日本企業による海外展開の背景や、進出先、事業内容等を学習し、その内容を体系的に講義します。また、総合商社での勤務を通じて培った国際的経験や事業会社の経営、新規事業構築の実務経験を活かした「実践から学び、理論体系を構築」する授業を目指し、授業の中で学生諸氏と双方向に意見を交換するなど、学生が主体となる授業スタイルで進行します。

### 授業計画

第 1 回	オリエンテーション（講義の概要、目的、スケジュール、アンケート）
第 2 回	国際経営の基礎知識
第 3 回	グローバルビジネスの経営戦略（ビジョン、ターゲット、戦略、戦術、アクションプラン）
第 4 回	企業活動のグローバル化の歴史（キリンビールの事例）
第 5 回	国際経営における海外取引（総合商社のトレードビジネスの事例：バリューチェーン）
第 6 回	海外子会社の経営管理（海外支社、支店、事業会社の経営など）
第 7 回	グローバルビジネスのリスクマネジメント
第 8 回	グローバルビジネスのマーケティング（エースコックの事例（ベトナム））
第 9 回	中小企業のグローバルビジネス戦略（地域中小企業の実例）
第 10 回	グローバルビジネスにおける M&A、戦略的提携（サムスン、アップルの事例）
第 11 回	外部講師の講義（日清食品グループのグローバルビジネス）
第 12 回	日本から海外への進出企業の事例 ①（学生のプレゼンテーション）
第 13 回	日本から海外への進出企業の事例 ②（学生のプレゼンテーション）
第 14 回	グローバルビジネスにおける人的資源管理
第 15 回	グローバルビジネスにおける組織形態（日産自動車の事例）
第 16 回	期末試験

### 到達目標

- 1] 企業活動のグローバル化の基本的な歴史や現状、捉え方を理解することができると共に、国際ビジネスの多様性を知ることで国際人としての知見や視野を広げることを到達目標とします。
- 2] 実務界でどのような分析、予測を行っているかを説明します。具体的には、経営戦略、リスクマネジメント、マーケティング戦略、M&A、戦略的提携などの授業は、実務経験と関連した事例を取り上げ、実務に直結した内容を修得することを目指します。
- 3] 国際経営に関する基本的な概念や用語を理解することによって、新聞・雑誌などの現代企業関連の記事を無理なく読みこなせることを到達目標とします。

### 履修上の注意

- 1] ケーススタディにおけるグループディスカッションでは、討議した結果をレポートにまとめ、授業中に提出してもらいます。
- 2] 授業中に提示するテーマに添ってチームごとにプレゼンテーションを行ってもらいます。
- 3] 外部講師の授業に対するアンケートをした学生には加点します。
- 4] 授業の進捗状況に応じてシラバスは変更します。

### 予習・復習

- 1] 新聞・雑誌・テレビ・WEB などの大企業の活動に関するニュースに目を通してください。
- 2] 学習した内容を関心のある大企業にあてはめるなど、実際に確認してください。

### 評価方法

- 1] 期末試験の成績（40%）
- 2] プレゼンテーション（30%）
- 3] 講義への貢献度、グループディスカッション、ミニレポート作成（30%）

### テキスト

・教科書は指定せず、適宜、授業資料、新聞・雑誌のレジュメなどを配布します。